

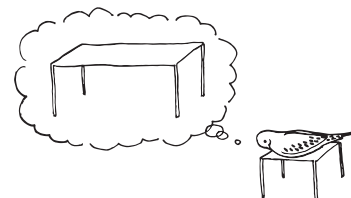
Vol.125

## CONTENTS

- 【コラム】オンライン授業を快適に受講するには?…越智 徹  
【解説】シンポジウム「大学入学共通テスト『情報』が目指すもの」…稲葉 利江子  
【解説】大学入学共通テストにおける教科「情報」の導入を受けて…河原 達也  
【解説】国立大学入学者選抜制度への「情報」の追加について…中山 泰一

## COLUMN

### オンライン授業を快適に受講するには?



2020年度の前期授業はコロナ禍の中、オンライン授業で幕を開けた。年が明けて2021年度の大阪工業大学の前期授業は、当初は対面形式で始まったものの、第5波による3度目の緊急事態宣言発出によって、再びオンライン授業に移行した。2020年度はほぼ誰もが経験したことのない中でのオンライン授業だったが、2021年度は、1年生は「初めて」でも教員側は「再び」のオンライン授業になる。なお本学では、BYOD (Bring Your Own Device) によって、全員ノートPCを所持していることが前提となっていたため、PC環境についてはあまり心配する必要がなかったのは幸いだった（もちろんある程度のサポートは必要だった）。

筆者は、前期授業期間中では1年生の情報リテラシー系授業を担当しているが、2020年度の経験を経て、学生には受講環境に関するさまざまなアドバイスを与え、オンライン授業での受講環境や疲労について調査した。詳しくは、情報教育シンポジウム2021での発表を参照いただきたいが<sup>1)</sup>、特にオンライン配信画面を見つつ、PC作業を伴うような演習授業の場合は、ノートPCの画面だけでは実質的に半分の画面領域しか使用できない。オンライン授業の快適さを向上させるにはこの点の解決が必要と考え、学生には次のように連絡した。

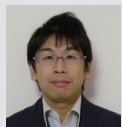
- 1) 外付けモニターは安価なものだと1万円前後で購入できる。
- 2) 通常の液晶テレビでもHDMI端子で接続すればPCの外付けモニターとして使用できる。

さて、学生は外部モニターを導入したのだろうか。アンケート調査を実施したところ、回答者161人中、外付けモニターもしくはテレビを使用したと回答したのは25人と15%程度だった。また、「設置場所や購入費用をまったく考慮しないと仮定して欲しいものは」と質問すると、外付けモニターが23人、もっと広い机という回答が37人という結果となった。新しく外付けモニターを購入するとしても、ノートPCや教科書類、さらにモニターのスペースが必要になってしまう。そのため、モニターよりもまず広い机が欲しい、という回答になったのではないかと推察する。

現在、後期授業中も筆者の一部担当科目はオンライン授業を継続している。前期に引き続き、外付けモニターの導入を推奨しているが、何人かはその後購入し「買ってよかった。とても快適です」と感想を送ってきた学生もいた。オンライン授業をどのように快適に受講してもらうか、まだまだ暗中模索、道半ばである。

#### 参考文献

- 1) 越智 徹、館野浩司：初年度情報リテラシー教育のオンライン授業における受講環境と疲労の調査、情報教育シンポジウム論文集 (SSS2021), Vol.2021, pp.61-68.



越智 徹 (大阪工業大学) (正会員) toru.ochi@oit.ac.jp

大阪工業大学情報センター講師。情報工学、情報教育が専門。情報センター教員として、2018年度より導入したBYOD運用の学生向けマニュアル作成や初年次情報リテラシー教育などを担当している。また、企業と合同でAIやIoTの教材開発や講座の実施も手がけている。

LOGOTYPE DESIGN...Megumi Nakata, ILLUSTRATION&PAGE LAYOUT DESIGN...Miyu Kuno